

八橋の虹

著：元井美智子

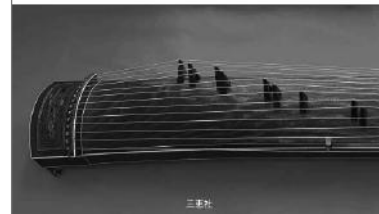
八橋の虹

元井美智子

知られざる江戸時代の音楽家、 八橋検校の生涯と功績。

八橋検校は箏曲（箏や地歌三味線の曲）の演奏家・作曲家として活躍し、現代の箏曲の基礎を築いた重要人物。しかし、その功績は意外にも一般にはあまり知られていません。本書では、八橋検校の生き方や業績に焦点を当て、読者に箏曲の魅力を伝えようと試みています。

箏曲に関心のある方はもちろん、日本の伝統音楽の歴史に興味があるすべての方におすすめの一冊です。



八橋検校
やつはしけんぎょう
1614~1685

◆目次

1. 目の見えない子
(八橋検校〈幼少名〈仮〉：秀〉誕生)
2. 初めての旅
3. 弟子入り（城秀となる）
4. 江戸へ
5. 京へ（山住勾当に）
6. 再び江戸へ
7. 長い旅へ（上永検校に）
8. 新しいお箏（八橋検校に改名）
9. 母のもとへ
10. 自分の世界を
11. 再び京へ
12. 師の旅立ちのあと
13. 後の世の八橋流

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
		著：元井美智子 八橋の虹
	冊	158頁/A5判/並製本 定価1,848円(税込) ISBN978-4-86693-952-0 C0021
ご注文は、JRCへ FAX：03 - 3294 - 2177(TEL：03 - 5283 - 2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		